

令和4年度 年間指導計画

教科・科目	国語・現代文研究	学年	第3学年	教科書	
		単位数	2単位	副教材	いづな書店「三訂版プログレス現代文総演習標準編」

学習目標
 国語総合・現代文で学んできた内容の発展的学習により、国語の向上を目指し、確実な読解力を身につけ、深い作品理解力や思考力・想像力を目指す。また、さまざまな分野の文章を読み解くための豊富な語彙を身につけ、応用力を養い、人生を豊かにする態度を育てる。

学習方法
 ○ 授業における課題に対して自ら考え、また、周りの生徒と共同で考える活動を行います。
 ○ 授業においては現代文研究専用の問題集を利用。
 ○ 現代文に頻出の単語を身につけるために、小テストがあります。
 ○ 家庭学習における課題の提出。最後まであきらめずに取り組みましょう。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	関心・意欲・態度	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、生涯にわたって文章に親しもうとする。	
b	話す・聞く能力	評論・小説・随想などの文章を読み、評論の論点、小説の着眼点を見つけ、説明できるようにする。		
c	書く能力	評論・小説・随想などの文章を読み、まとまった量の内容を要約し、自己の表現力や推敲する力を高める。		
d	読む能力	評論・小説・随想などの文章をある程度の速度で読み、書き手の意図などを的確にとらえられるようにする。		
e	知識・理解	評論・小説の中で頻出する語句に着目し、その語句の関連事項を学び、重要単語の背景にある時代や文化、社会などに関する知識を深める。		

学期	時間数	指導事項	単元の評価規準	評価方法	主な学習活動	単元(題材)
前期	4	現代文における基本的な読解について1・2年次の学習を基に確認し、より高度な読みの体験をする導入的な役割をする。	a：時事問題などについてニュースなどで予備知識を蓄えている。 d：キーワードに着目して、文章の構成をつかむことができる。 e：指示語が示すものを抜き出すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 課題等の提出状況と内容 観察 定期考査 授業演習問題 各時間における小テスト提出 授業時の小テスト ワークシートの作成と提出 意見の集約や発表 各提出物 	現代日本における「即座主義」の具体例を挙げ、共有する。	○白秋望景 ○ブラリひょうたん
	6	2000字程度の文章を読み、主語述語を押さえた文脈の理解と百字程度での内容を要約する。	a：評論を読む際に構成を意識して読もうとしている。 c：百字程度で内容を要約することができる。 d：評論の接続詞に注目して、次の論述を予測しながら読むことができる。 e：まとめる力を自分が書く文章表現の中に生かすことができる。		自分が書いた百字要約を他の生徒と見比べて推敲してみる。	○母の死と新しい母 ○東京の空聞人類学 ○技術の正体
	8	「子ども」から「大人」への成長を現代社会の問題と関連付けながら考えることができる。小説を読んで、登場人物の心情を自然に想定できる。	a：長編物語の構成や展開に注意して読むことができる。 b：登場人物の行動や心情を理解し、説明できる。 d：文章の構成に即して内容を的確に捉えられている。 e：主語・述語を押さえて文脈を理解できる。		選択問題の正解を吟味して、なぜその正解が導かれるのか話し合う。	○名人伝 ○雨あがる ○青年期の生き方について
	2	論理的な文章を読んで、文章の構成に注意しながら、分析的に読み取る。	a：時事問題などについてニュースなどで予備知識を蓄えている。 d：キーワードに着目して、文章の構成をつかむことができる。 e：自分の書いた小論文などへの参考にし、批判的に読むことができる。		文章の中で説得力があると思える部分に線を引いて、他人が線を引いた部分と見比べて考えてみる。	○悲鳴をあげる身体 ○独酌予滴
	2	文章を読み、主語述語を押さえた文脈の理解と百字程度での内容を要約する。	a：これまでよりも速いスピードで文章が読める。 c：百字程度で内容を要約することができる。 d：筆者の視点から見た、様々な観念、概念などについて理解できている。 e：まとめる力を自分が書く文章表現の中に生かすことができる。		百字要約の際に、主述がねじないように注意して書く。	○母
	6	文章を読み、主語述語を押さえた文脈の理解と百字程度での内容を要約する。	a：これまでよりも速いスピードで文章が読める。 c：百字程度で内容を要約することができる。 d：筆者の視点から見た、様々な観念、概念などについて理解できている。 e：まとめる力を自分が書く文章表現の中に生かすことができる。		百字要約の際に、主述がねじないように注意して書く。	○自分と向き合う ○時間という錘 ○見ることと聞くこと
	10	論理的な文章を読んで、文章の構成に注意しながら、深く読み取る。筆者が体験したエピソードから醸し出される気持ちや心情を読み取る。	a：本文を根拠として設問の答えを探そうとしている。 b：頻出するテーマに対する常識的な意見への反論や、一般的な意見を別の視点から説明できる。 d：キーワードに着目して、文章の構成をつかむことができる。 e：自分の書いた小論文などへの参考にし、批判的に読むことができる。		勘ではなく、明確な根拠をもって、なぜその選択肢が正解なのかを説明する。	○寝ながら学べる構造主義 ○陰翳礼賛 ○桜島 ○鹿を追いかけて

後期	10	情報科学の問題点、歴史に対する事実認識、主人公の目を通した生き方考え方を読み取る。	a : 歌論を読みながら、日本の情趣や日本的な思想を理解し各作品を味わうことができる。 b : スタンダードなテーマについて、本文以外に新聞のコラムなどで知識を得ている。 d : 筆者の主張を理解し、設問に対して論理的に解答を導こうとしている。 e : 記述問題を書くための語彙を豊富に持っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題等の提出状況と内容 ・観察 ・定期考査 ・授業演習問題 ・各時間における小テスト提出 ・授業時の小テスト ・ワークシートの作成と提出 ・意見の集約や発表 ・各提出物 	設問の意図を理解して記述問題を本文を根拠に書く。	<ul style="list-style-type: none"> ○AIさえあれば生きていけるのか ○グッバイ・ゴジラ、ハロー・キティ ○社会学入門一步手前 ○風葬の教室
	8	歌論を読み、和歌の表現について味わうとともに、「世界の中の日本」という視点から我が国を分析する視野を持つ。	a : 歌論を読みながら、日本の情趣や日本的な思想を理解し各作品を味わうことができる。 b : スタンダードなテーマについて、本文以外に新聞のコラムなどで知識を得ている。 d : 筆者の主張を理解し、設問に対して論理的に解答を導こうとしている。 e : 記述問題を書くための語彙を豊富に持っている。		「世界の中の日本」というテーマで意見を交換し、自らの視野を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> ○世界を知る力 ○詞華断章 ○なぜ英語以外の外国語を学ぶのか ○海と文明
	8	現代における社会問題に関する評論を読み、筆者の理論の展開をまとめる。また、複数の文章から成る文章題に挑戦する。	a : 設問を予測しながら読もうとしている。 b : スタンダードなテーマについて、本文以外に新聞のコラムなどで知識を得ている。 d : 主人公の目を通した様々な観念、概念などについて理解できている。 e : 記述問題を書くための語彙を豊富に持っている。		リスク社会における政治的・倫理的決断について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○新欲望論 ○ボランティアもうひとつの情報社会 ○彼岸過迄 ○再発見夏目漱石 ○生命工学の現状 ○生物と文学の間
計	64					